

令和4年度第3回関市環境審議会 会議録

◆日 時：令和5年3月28日（火）13:30～15:30

◆場 所：関市役所 6階 6-2会議室

◆出席者及び欠席者 《敬称略》

(1) 出席者：田中 耕、平田和雄、清水道隆、井上好章、宮部英門、坂井一弘、
中嶋 亘、野田哲貴、裁 裕子、加納由香里

(2) 欠席者：津田格、水野友有、多田幸泰、鳥本勝則、早川貞子、藤井遼斗

(3) 事務局：津谷典男（市民環境部長）、後藤英矢（環境課長）、神戸功
西部祐司、小椋かおり

(4) 傍聴者：なし

1. 開会

【事務局】

本日はご多用の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。定刻になりましたので、これより関市環境審議会を始めさせていただきます。

はじめに、関市民憲章のご唱和をお願いいたします。恐れ入りますが、ご起立をお願いいたします。なお、関市民憲章はお手元に配布してございます次第の裏面でございますのでご覧ください。私が「関市民憲章」と申し上げましたら、続いてご唱和をお願いいたします。

<関市民憲章 唱和>

ありがとうございました。ご着席ください。

まず最初に令和5年2月1日付けで委員の交代がありましたので、ご紹介させていただきます。関商工会議所の坂井一弘委員です。よろしくお願いいたします。

本日の出席委員は9名です。当審議会の委員数は16名でございますので、委員の半数以上の出席となり、「関市環境審議会規則」第3条第1項の規定により、本日の会議が成立したことをご報告させていただきます。

それでは、津谷市民環境部長からご挨拶を申し上げます。

<津谷市民環境部長 挨拶>

【事務局】

それでは、本審議会の慣例にならい、これより会議の進行を会長にお願いしたいと思いますので、田中会長、よろしくお願いいたします。

【田中会長】

本日の会議は、お手元に配布してございます次第のとおり進めてまいります。皆さま方より積極的なご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、第二期関市環境基本計画最終案について、事務局から説明をお願いします。

2. 審議事項

- 1) 第二期関市環境基本計画策定に係る最終案について
- 2) 第二期関市環境基本計画こども版について

<事務局が資料に基づき説明>

資料 第二期関市環境基本計画（案）

- ・第2回審議会からパブコメ実施までの主な変更点の説明
- ・パブコメ結果の報告、委員からの意見に対する回答
- ・パブコメ実施後の主な修正箇所の説明

【田中会長】

計画の最終案につきまして、質疑、ご意見がございましたら挙手のうえ、お願いいたします。

83ページの生ごみたい肥化装置等購入補助件数の「※2」はどのような内容でしょうか。

【事務局】

こちらは、パブコメ前の計画案では間違っ載っていますが現在は削除してあります。

【井上委員】

21ページにカワゲラウォッチング参加校数、環境フェアへの参加団体数、環境講座の開催回数の指標がありますが、参加者数や講座後のアンケートの満足度などを今後指標としてはプラスしてはどうか。また、環境講座は野外の講座でしょうか。私も環境の講座を座学で生涯学習課の成人学校などでやっていますが、この指標はどういう範疇でしょうか。また、目標の指数をより良いもの、分かりやすいものにできたら良いと思います。環境フェアの参加人数ははかれません、今後アンケートを取って指標として見えるものにしていけるとよいと思います。

【事務局】

まず環境フェアですが、人数についてはどうしても把握できないのでこのような形での

指標としています。アンケートについては取っておりますので今後何らかの形で公表していきたいと思っております。講座については野外と座学と両方含んでおります。講座においてもアンケートを実施しておりますので今後満足度などを反映させていきたいと思いません。

【野田委員】

第1回の審議会の際に、脱炭素に関しては施策を練っているという話でしたが、それは今回の最終案のどこかに含まれているのでしょうか。

【事務局】

脱炭素に関しては、81ページに目標値、38ページに取組内容があります。

【野田委員】

第1回の審議会の時に言われていた検討中の施策というのはどの部分でしょうか。

【事務局】

第1回の審議会で言ったのは、現在計画の内容を検討しているという意味だったかと思うのですが、今取り組んでいる部分としては太陽光発電の補助や講演会やセミナーを増やして周知を進めております。来年度につきましてもそのあたりを引き続き考えております。

【裁委員】

生ごみについてですが、生ごみたい肥化装置の利用を増やして生ごみの減量を進めるというのは大変賛同するところですが、目標値を見ると20年後でも3割ほどの導入数となっています。ということは7割の方は焼却ゴミとして出されることとなります。水分の多い生ごみだけでも、個人でたい肥化されない分をどうにかできないかと自分でもいつも考えています。たい肥の利用促進についても、その堆肥を誰がどこで作っているかが明確になっていないと自分の出しているごみに対して責任を持ってないのではないかと思います。関市は農業をされている方も多く、最近では肥料も高くなっており、せっかくの有機物が焼却されるのは非常に残念だと思い今回意見をさせていただきました。たい肥の利用促進という言葉だけではなく、その堆肥を誰がどのように作っているのかを考えるような機会を今後作っていただけたらありがたいと思います。

【事務局】

たい肥化装置の導入数を目標指標としたのは、指標として分かりやすいということで使っていますが、これだけを推進していこうとしているわけではないです。それ以外の施策についても考えているところですが、ご意見を参考にさせていただきたいと思いません。

【井上委員】

68ページに歴史的資源の活用ということで取組がありますが、関市には県の天然記念物の名無木や関市指定の重要文化財が10箇所あり、21世紀の森の株杉など素晴らしいところがたくさんあります。歴史的資源の活用というのは文化的なものに限っているのかもしれませんが、天然記念物についても取組や見学会などで市民の皆さんに知っていただく機会を作っていくことを今後進めていただけたらと思います。

【事務局】

ありがとうございます。参考にさせていただきます。

【田中会長】

では、続きましてこども版の説明を事務局からお願いします。

<事務局が資料に基づき説明>

資料 第二期関市環境基本計画 こども版（案）

【田中会長】

こども版についてご意見がございましたらお願いします。

【中嶋委員】

先月、富野中が河川のごみ拾いをして、ごみをなくそうというアピールとして拾ったゴミで作った作品をふれあいセンターに飾っています。そういうものを広めたり清掃活動を広めていくことも大事だと思います。実際に落ちているごみをどうしていくか。自治会でごみ拾い運動をしています。形だけになってしまっている部分もあり、今年は本格的にごみを拾う計画を立てています。毎月不法投棄のごみを拾っていますが1回で4袋くらいあり全然なくならないです。そういうゴミをどうしていくか、ごみを拾う方も考えていかなければいけないと思います。

【事務局】

ごみ拾いに関しまして、環境課としても色々な取り組みを進める中で、昨年12月に貝印の社員の方と環境課職員でプロギングという、ごみ拾いとジョギングを一緒に行う活動を百年公園の南口からインターまでの間で実施しました。令和5年度につきましても、ごみ拾いとウォーキングやジョギングを一緒に行うという、最近流行ってきている新たな方法なども進めていけたらと考えております。

【平田委員】

4ページの「身近な自然や生き物に関心を持とう」のところにオオキンケイギクの写真が載っていますが、これはどうでしょうか。

【事務局】

事務局の方でもこの写真については意見が出ており、関心を持とうという意味で最初は載せましたがやはり載せないほうが良いとのことで削除する予定であります。

また、さきほど中嶋委員からお話のありました富野中の取組については大変良い取組だと思いますので、環境課としても何らかの形で発信していけるよう考えたいと思います。

【田中会長】

たくさんの人に河川清掃の実態を作品から知っていただくことで、環境を考えるきっかけにもなりますね

【事務局】

学校の取組を他の学校にも紹介するなどして意識が触発されることで、大人になってからも環境を大切にする、将来を担う子どもたちにとってそういうきっかけになればと考えています。

【加納委員】

子どもが興味を持つきっかけがあるといいと思います。学校区ごとに地域のことが一つずつでも織り込まれていると自分の地域のことだという目線で見ることができるので良いのではないかと思います。なかなか全部を網羅するのは難しいかもしれませんが、写真一枚ずつでもあるといいと思います。

【事務局】

今回のこども版には間に合わないかもしれませんが、今後も含めて参考にさせていただきたいと思います。またホームページなどを活用して地域のことや学校の取組などを発信していけたらと思います。

たくさんの人に河川清掃の実態を作品から知っていただくことで、環境を考えるきっかけにもなりますね。

【井上委員】

タブレットで利用するということですが、子供が学習して終わりではなく、やはり書き込んだりワークシート形式になっていてプリントアウトして配布できると良いと思います。自分ができることを書いてみようというコーナーがあると取組が違ってきますし、プリントアウトして書き込むと成果になり他の子の内容と見比べることもできます。総合的な学習や4年生のごみ学習でも使えるので、これを利用して授業に生かせるような形にさせていただけたらと思います。

【事務局】

環境教育という観点もありますので、意見を参考にさせていただき、学校教育課と相談しながら進めていきたいと思っています。

【田中会長】

ここまでの部分ではよろしかったでしょうか？

それでは、第二期関市環境基本計画についての審議はこれで終了となります。

続きまして、次第の3) 報告事項に入ります。関市環境基本計画（第三次見直し）の令和4年度進捗状況について事務局から説明をお願いします。

<事務局が資料に基づき説明>

資料 関市環境基本計画（第三次見直し）の令和4年度進捗状況について

【田中会長】

関市環境基本計画（第三次見直し）の令和4年度進捗状況について、質疑、ご意見がございましたら挙手のうえ、お願いいたします。

【井上委員】

2 ページの生物の多様性の確保の今後の展開のところ、河川工事等における貴重種の移植の実施とありますが、移植も大切ですが群落ごとに保護していくことも入れていただけたらと思います。植物は遺伝子が違うところに移植すると大変なことになることもあるので、条件によっては群落ごとに植物を守っていくこと、群落を保護していくことも考慮していただけたらと思います。

それから自然環境の保護のところ、色々な自然観察会のこと載っています。私は以前岐阜県博物館におりましたが、百年公園の中で自然観察会を行っています。植物観察会、昆虫観察会、バードウォッチングなどたくさんやっています。もう少し岐阜県博物館と連携していけたらと思います。イベントを紹介していただいたりすることで博物館もより助かると思います。

【事務局】

ぜひ岐阜県博物館と連携していけたらと思います。移植に関しては植物についても考慮が必要ですし動物に関しても必要になることがあるかと思いますが、気を使いながら保護について考えていきたいと思っています。

【野田委員】

重点施策4について、公共施設における温室効果ガスの排出量の統計を取られているということですが、公共施設以外の工場や事業所の温室効果ガスの排出量の把握についてはこの1年で何か進捗があったのでしょうか。

【事務局】

第二期関市環境基本計画の重点施策1の中で、関市における二酸化炭素の排出量という

ことで全体の排出量を指標とさせていただきました。

【野田委員】

今後はその数値を追いかけていくということですか。

【事務局】

はい、そういうことです。

【加納委員】

基本的施策の進捗状況について、基本的施策ごとに主な取組実績が掲載されていますが、例えばⅢ資源を無駄なく使う持続可能なまち 2 廃棄物の適正な処理 2 適正処理の推進のところでは、2 適正処理の推進の取組実績が掲載されていません。これはどのように評価値を出したのでしょうか。同じように取組実績の掲載がない部分がいくつかありますが、何かしら取組実績があって評価値が出ていると思うのですがどうでしょうか。

【事務局】

基本的施策の進捗状況については、各課に照会をして実施・未実施で回答をもらっています。主な取組実績については代表的なものを載せています。

【加納委員】

載っていない部分があると、そこに関してはどうやって評価したのかわからない。最低でも1つは載っていないと何に対しての評価なのかがこの短い文面からは読み取れないので載せていただけるとよいのではないかと思います。

【事務局】

わかりました。次回からはそのようにします。

【加納委員】

Ⅲ資源を無駄なく使う持続可能なまち 4 省資源・省エネルギー、再生可能エネルギー活用の推進の部分では、2 再生可能エネルギーの活用の取組実績が4つあり非常に重点的に取り組んでいることが分かるのですが、他の項目が2つ程度なのに対して4つあるのはバランス感が気になります。また例えば新規事業などだと予算をどれくらい使って重点的にやろうとしているのか読み取れるといいと思います。

【事務局】

この施策は新規の取組が多かったのであえて載せさせていただいたということもありますが、今後はバランスのことも考慮して載せていきたいと思っています。

【加納委員】

重点施策の指標にカワゲラウォッチングの参加校数がありますが、未実施の理由として校区内に調査可能な河川がないという理由があり、これは今後も実施される見込みがほぼないようにとらえられます。この指標は重点施策2と重点施策4のところで2回載っていますが公平性のないものを重点施策にするのはどうかと思うので、違うものに置き換えられるのであれば置き換えたほうが良いと思います。

【事務局】

以前も同様の意見が出まして、カワゲラウォッチングに代わる指標を検討したのですがなかなか当てはまるものがなかったため、不平等にはなりますが一番見やすい指標ということであげさせていただいています。

【裁委員】

重点施策の進捗状況の3ページで「1人1日当たりのごみの排出量」とありますが、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ色々種類がありますがこのごみというのはどのような内容でしょうか。

【事務局】

ごみの総排出量を人口で割った数値ですが、ごみの総排出量に資源ごみが入っていたかどうか一度確認します。

【裁委員】

最近ではエコモールなどでの資源ごみの排出も増えています。1人1日当たりのごみの排出量は減ってきているのかもしれませんが、関市の環境にある表を見ますと、燃えるごみは高止まりであまり減っていないように思われます。ごみの排出量に資源ごみが入っているかないかで数値の見方も変わってくるのでそのあたりを明確にさせていただけたらと思います。

【事務局】

はい、わかりました。

(ごみの内容確認後) 家庭ごみ、資源ごみ、集団回収のごみ、事業系一般廃棄物の総量を人口で割った数値となっています。ごみの内容が分かるように注釈などで説明を加えたいと思います。

【田中会長】

それでは次に令和4年度版関市の環境について、事務局から説明をお願いします。

<事務局が資料に基づき説明>

資料 令和4年度版 関市の環境

【田中会長】

ありがとうございました。令和4年度版関市の環境について、質疑、ご意見がございましたら挙手の上お願いいたします。

【井上委員】

36ページにカワゲラウォッチングの記載がありますが、カワゲラウォッチングを実施する際のバットやバケツ、網などは各学校が購入しているのか市から提供しているのかどちらでしょうか。

【事務局】

貸し出しもしていますし各学校で購入しているところもあります。

【井上委員】

市で購入して渡すと学校側も必ずやってくれたりすると思います。今後カワゲラウォッチングを盛んにやってもらえると良いと思うので感想としてですが述べさせていただきます。

【清水委員】

29ページに迫間川の下沖橋で調査した結果が載っております。地元ですので他の所と見比べたのですが、大腸菌数が一番多くてびっくりしました。下水処理場の上にこの下沖橋がありまして、上で調査したとなると下水処理場関係なくこの数値ということで驚いています。もしかしたら下水処理場の下で調査されているのかどうでしょうか。

また、20ページの希少野生生物分布調査の平成25年度のところに関市南部でギフチョウとカンアオイの生息場所について調査し、生息の確認は取れなかったと書いてあるのですが、迫間にカンアオイは生息しており、時々ギフチョウもみることができます。

【事務局】

この調査時には発見できなかったということだと思いますが、調査は周期的にしておりますので、次回の関市南部の調査では今回の意見も伝えて注意深く調査するようにしたいと思います。

また下沖橋の件ですが、推測にはなるのですが迫間川は狭くて水量が少ない川です。また上迫間の下水処理場や浄化槽の排水も入っていると思われます。水量が少ないとその部分の影響を大きく受けているのではないかと推測できます。ほかの箇所と比べて確かに高くなっておりますがそれほど問題となる数値ではないと思います。

【加納委員】

7ページの環境行政のあゆみに載せたらいいのではないかと思うことなのですが、給食のジビエ献立なども環境にも関わることなのかなと思うので、関市で行われた取組としてトピックスでも良いのでどこかに載せられると良いと思います。

また、ボランティア用のごみ袋を取り入れられた時期はいつ頃でしょうか、これも載せると良いと思います。

【事務局】

ボランティア用ごみ袋については、平成8年10月の指定ごみ袋制度と一定量以上有料化方式の導入の際にボランティア袋も導入しました。またジビエ給食に関しまして、今回は環境課に関する事柄しか掲載していませんが、今後他部署での環境に関わる取組なども掲載するよう検討していきたいと思います。

【田中会長】

このほか、質疑、ご意見はございませんでしょうか。

質疑、ご意見はございませんので、審議事項、報告事項については終了いたします。

その他としてこのほかにご意見がございましたら、挙手のうえ、お願いいたします。

【加納委員】

こういった計画類をどう公表してどのように市民に届けるかが気になっています。立派な計画を作っても市民の皆さんに届かなかったり意識されないと効果が出ないと思うので、どのように届ける予定なのか聞かせていただきたいです。

【事務局】

今まで関市の環境の中などで紹介しながら公表していますが、言われる通り弱いところもあると思いますので、もっと広く公表していけるよう考えていこうと思っています。

【加納委員】

ホームページを拝見すると細かく掲載してありひとつずつ丁寧に伝えようというのが分かるのですが、やはり市民の方がそこにいくまでが難しく、選んでクリックして見るというのは厳しいのではないかと思います。LINEやYouTube、インスタグラムなどいろいろな人の目にとまりやすい簡単な方法があるので、ぜひ環境についても多くの人に届きやすい発信をしていただけたらと思います。

【事務局】

今、ひとつ試みとして資源ごみのビンの分別方法が難しいということで動画を作成して配信する予定をしております。今後もそのような形でさまざまな発信をしていけたらと考えています。

【田中会長】

最近はいろいろなメディアがありますし、スマホの活用も非常に多いのでそういったメディアを活用していただけるとよいと思います。

【事務局】

市役所のホームページは関市に限らずどこの市でも階層が深すぎてどこに書いてあるのが非常に分かりづらく、たどり着くのに時間がかかるという問題があります。ホームページの掲載方法については担当課と相談して改善していきたいと思っておりますし、今、日本全体がDXの取組を進めている中で、SNSの配信も含めできるだけ市民に親しまれるものにしていきたいと思っておりますので、また良いアイデアなどあればお寄せいただけるとありがたいと思っております。

【事務局】

事務局からその他の報告事項を説明

- ・日産との連携協定について
- ・脱炭素チャレンジについて

【田中会長】

ありがとうございました。その他について他に何かありますでしょうか。

特になければ、本日の議事はすべて終了しましたので、本会議の進行を事務局にお返しします。

【後藤課長】

田中会長をはじめ委員の皆様、本日は、貴重なご意見をありがとうございました。

なお、第二期関市環境基本計画の印刷業務については令和5年度の実施になりますが、委員の皆さまへは製本後速やかに配布させていただきますので、よろしく申し上げます。

これにて、令和4年度第3回関市環境審議会を閉会いたします。